

The SCSK logo is rendered in a bold, white, sans-serif font. The letters 'S', 'C', and 'K' are significantly larger and more prominent than the 'S' and 'K' in the second instance, creating a stylized, interconnected appearance.

夢ある未来を、共に創る。

第8回 現地会議 in 岩手

企業とNPOの連携について

2013年10月18日

SCSK株式会社

会社概要

会社名	SCSK株式会社 SCSK Corporation (略称 SCSK)
本社所在地	東京都江東区豊洲3-2-20 (豊洲フロント)
資本金	21,152百万円
従業員数	7,494名 (単体)、11,797名 (連結) (2013年3月31日現在)
設立	1969 (昭和44) 年10月25日
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・システム開発・ITインフラ構築・ITマネジメント・BPO (Business Process Outsourcing)・ITハード・ソフト販売
URL	http://www.scsk.jp/



SCSK株式会社 CSR推進部長
森 由美

1994年SCSK株式会社
(当時:株式会社CSK)入社。
金融機関向けのシステム開発
サービス企画、営業支援、
プロジェクト管理部門
人材開発部門を経て、
2011年より現職。
宮城県仙台市出身。

顕在化した社会課題

東日本大震災により、東北沿岸地域で社会課題が一気に顕在化してしまった。



震災からの復興には、社会課題の解決
= **ソーシャルビジネス・ソーシャルイノベーション**
が求められている。

SCSKに求められる役割

本業と会社の持つリソースを生かして
産業・経済振興に貢献し、「地域力」を高める



SCSKの復興支援活動

ITサービス提案活動

- ・東北地域の事業者様
- ・支援したい企業・団体様

ビジネスアイデアコンテスト

(イノワングランプリ・スタディツアー)

社員派遣プログラム



企業人
スキル

本業と
会社の持つ
リソースを
生かす

新規事業

知る
触れる
機会



食べて応援しよう！
社員食堂・物産販売会



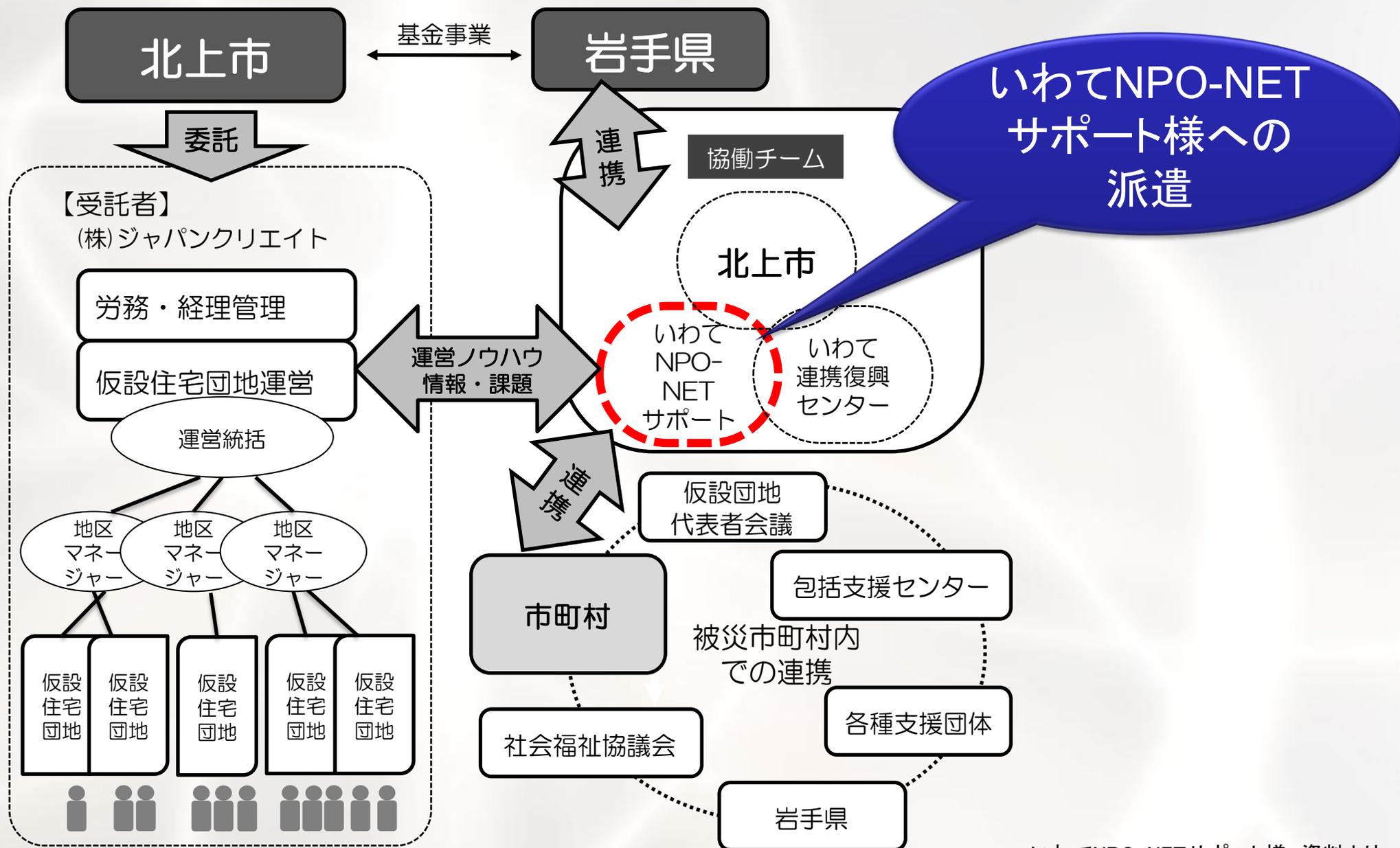
サービス
ソリューション

社員（ボランティア）派遣プログラム

2012年10月～12月の3ヶ月間、岩手県大船渡市・大槌町の
仮設住宅支援員事業の運営支援に、社員3名を派遣。
社員はボランティア休業を取得して参加。



沿岸被災地仮設住宅運営支援事業スキーム



事業の目的

仮設住宅に住んでいる人全てが健康で前向きな生活を送ることができる環境をつくる

支援員の役割

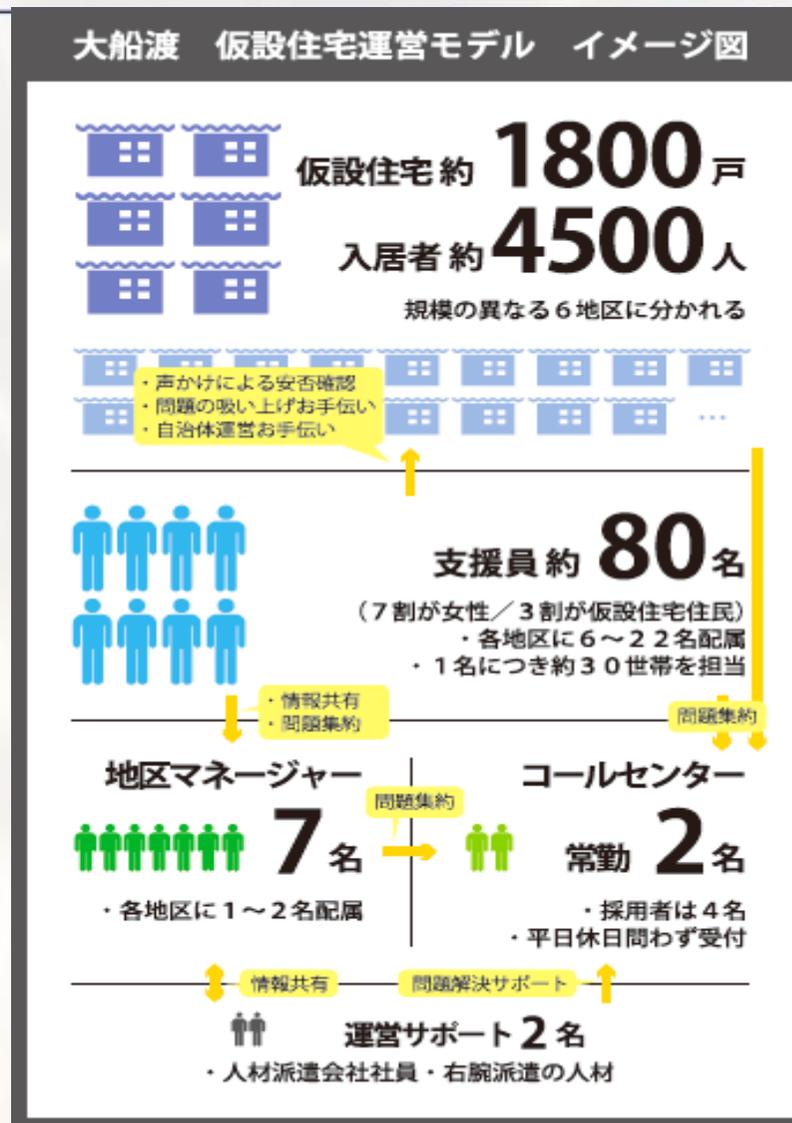
お手伝い

- ・住民のみなさんのお手伝い
- ・自治会運営のお手伝い
- ・行政のみなさん、社協さんのお手伝い

つなぎ役

- ・行政と住民の皆さんのつなぎ役
- ・住民の皆さんの困りごとと解決策のつなぎ役
- ・住民の皆さんとさまざまな情報のつなぎ役
- ・住民の皆さん同士のつなぎ役
- ・住民の皆さんと支援団体のつなぎ役

支援員配置イメージ



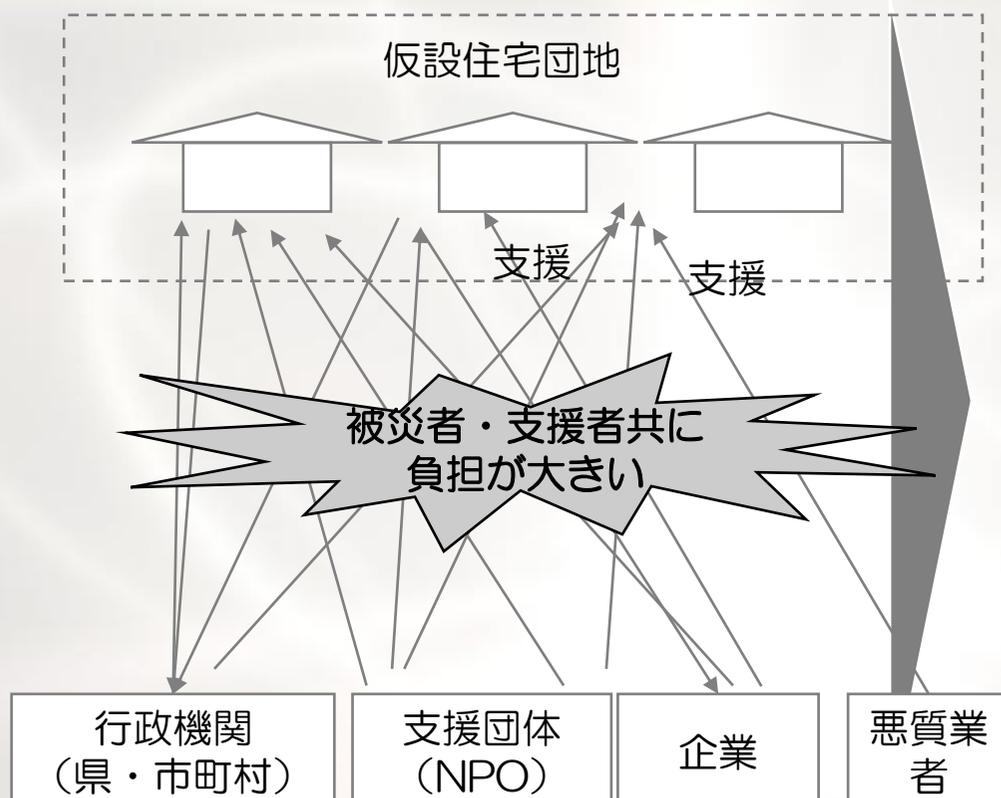
大船渡市で運営されている仮設住宅支援事業では、仮設住宅1800戸と入居者4500人を支援対象とし、支援員80名とその他11名を地元住民から雇用・配置

沿岸被災地仮設住宅運営支援事業の効果

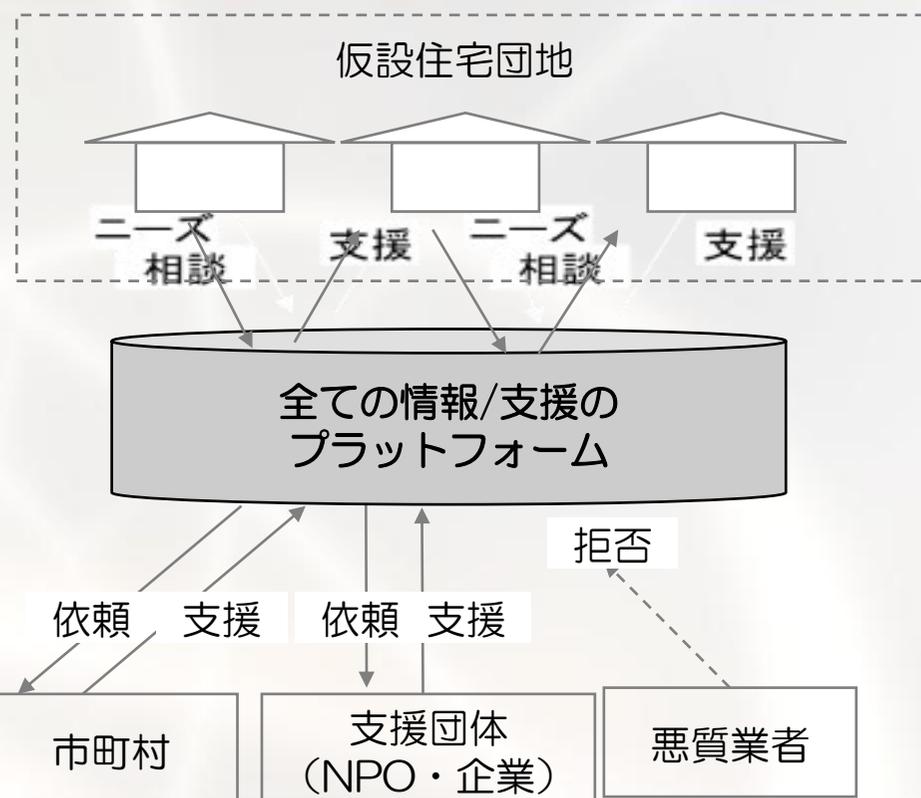
通常の支援状況

大船渡市での支援員モデル

支援体制



- ✓ 支援団体は別々に支援を実施
- ✓ 各団体のリソース不足により、支援は短期的に
- ✓ 仮設住宅間の支援格差が発生
- ✓ 住民は誰に相談していいのかわからない状況



- ✓ 支援団体と仮設住宅を繋ぐプラットフォームに全ての情報/支援を集約
- ✓ リソース不足の解消と住民ニーズの把握により長期的かつ効果的支援が可能
- ✓ 仮設住宅間の支援格差を解消

- 支援体制が入る以前は情報経路が複雑化し、ニーズの把握が難しく、支援の程度に格差が発生
- 大船渡市では、民間・行政連携の支援員事業により、支援の平準化を実現

いわてNPO-NETサポート様からの要請内容

仮設住宅支援員（約200名）の「自立」に向けた中長期的な
人材育成事業を構築・運営したい

地元住民のエンプロイアビリティ
（実践的職業従事能力）向上
＝就業支援

企業視察等で把握した東北全域における潜在ニーズ

社員派遣プログラム ポイント

**3カ月間
フルコミット**

現地からは長期派遣の要望あり
3ヶ月は「現業から離れて活動に参加する」
事実上の最長期間

**既存のボランティア
休業制度
(社内制度)を転用**

JICA青年海外協力隊への参加を想定した
既存の制度を転用することにより短期間で実現

**多岐にわたる
スキルを生かす**

ITリテラシ(Officeソフトの操作等)教育に留まらず、
組織で働く為に必要な行動を伝達
例)会議の招集・ファシリテート・記録 など

成果

1. 社員自身の学び・成長
2. ITスキル、ITリテラシだけではない企業人スキルの有効性
3. 支援員のサポート
＋
支援員事業（NPO）のサポートとしての重要性

今後の課題

1. 「企業人スキル」から一歩踏み込んだITサービスの活用
2. 人材育成観点での訴求、他社への波及
3. 事故発生時・災害発生時の連絡手段、保険
4. 派遣される社員への事前教育

The logo for SCSK, consisting of the letters 'SCSK' in a bold, white, sans-serif font. The letters are closely spaced and have a slight shadow effect.

SCSK

夢ある未来を、共に創る。

Several thin, white, curved lines that sweep across the page from the left side towards the right, creating a sense of motion and design.

ビジネスアイデアコンテスト

ビジネスアイデアコンテスト

- サービスイノベーション推進室との共催

新規事業創出、イノベーター育成の一環として3年前から社内
で実施しているビジネスプランコンテスト「イノワングランプリ」

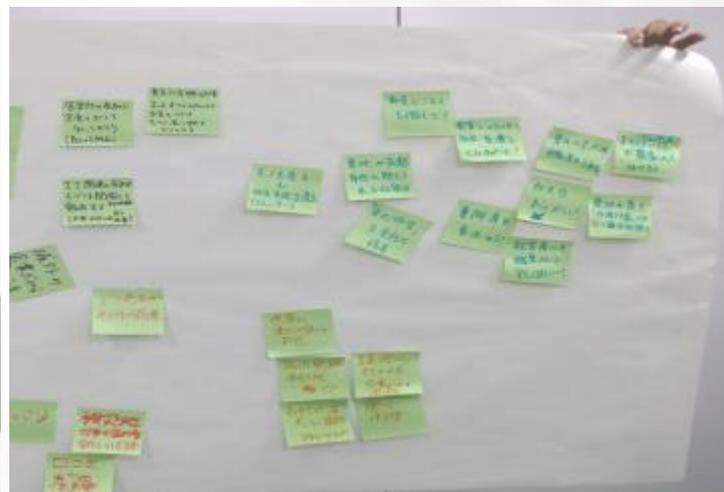


- 東北復興に寄与できるビジネスアイデア募集

- 入賞者向けにアイデア検証の為の「スタディツアー」を実施



ビジネスアイデアコンテスト 概要

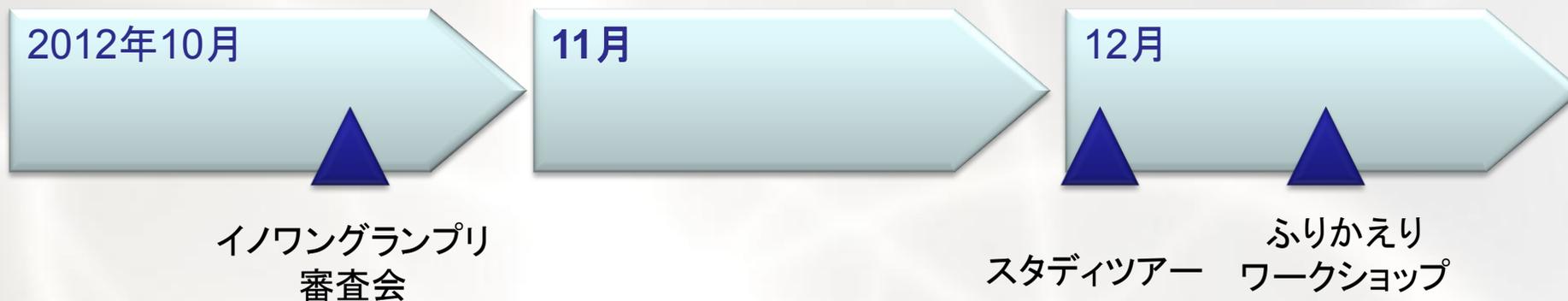


東北との接点が少ない社員が多いため、アイデア検討のために「有識者による講演＋ワークショップ」型のイベントを開催。

第1回：現地のいまを伝える

第2回：ソーシャルビジネスの考え方を伝える

ビジネスアイデアコンテスト 概要



審査基準、企画書の評価基準

- ① 取り組み施策の切迫度、必要性
- ② 組める相手や候補がいるか否か
- ③ SCSKとしての行うべきこととしての適応度
- ④ 夢を感じられるか
- ⑤ 目の付け所、発展性 等

**審査会通過
(入賞)**

**33名より55件の
アイデアエントリー**

**22名より、12件の
企画案エントリー**

**10名による
6件の企画**

東北地域のイノベーション最前線でフィールドワーク
2012/12/4～6(2泊3日) 参加者:10名



- ▼宮城県気仙沼市
気仙沼紫市場
- ▼岩手県陸前高田市
長洞元気村仮設住宅
SaveTakata
- ▼岩手県大船渡市
気仙広域環境未来都市事業体
大船渡越喜来仮設住宅(宿泊)
- ▼岩手県釜石市
@リアスサポートセンター
- ▼岩手県大槌町
どまんなか大槌漁業組合
おらが大槌夢広場
- ▼岩手県北上市
きたかみ復興協働ステーション
いわてNPO-NETサポート

既存の
ビジネスプラン
コンテストの活用

ビジネスプランコンテストのトライアル版として
特定テーマ＝東北復興ビジネス
アイデア募集が実現

事前イベントの実施
(セミナー)

インプットとして、連動イベントを開催

スタディツアーとの
組み合わせ

アイデア検証の場として、
現地スタディツアーを実施

成果

1. 東北復興に「ビジネス」に関わる意欲のある社員の発掘
2. 原体験の重要性と効果の実感
3. スタディツアー実施による「チーム」形成
⇒次期イノワングランプリ応募
⇒外部のビジネスアイデアコンテスト応募

今後の課題

1. スタディツアーを含めたイベントのトータルデザイン
(内容・タイミング)
2. チーム育成、企画の実現
3. 今後のビジネス企画に向けた、母集団形成

The logo for SCSK, consisting of the letters 'SCSK' in a bold, white, sans-serif font. The letters are closely spaced and have a slight shadow effect.

SCSK

夢ある未来を、共に創る。

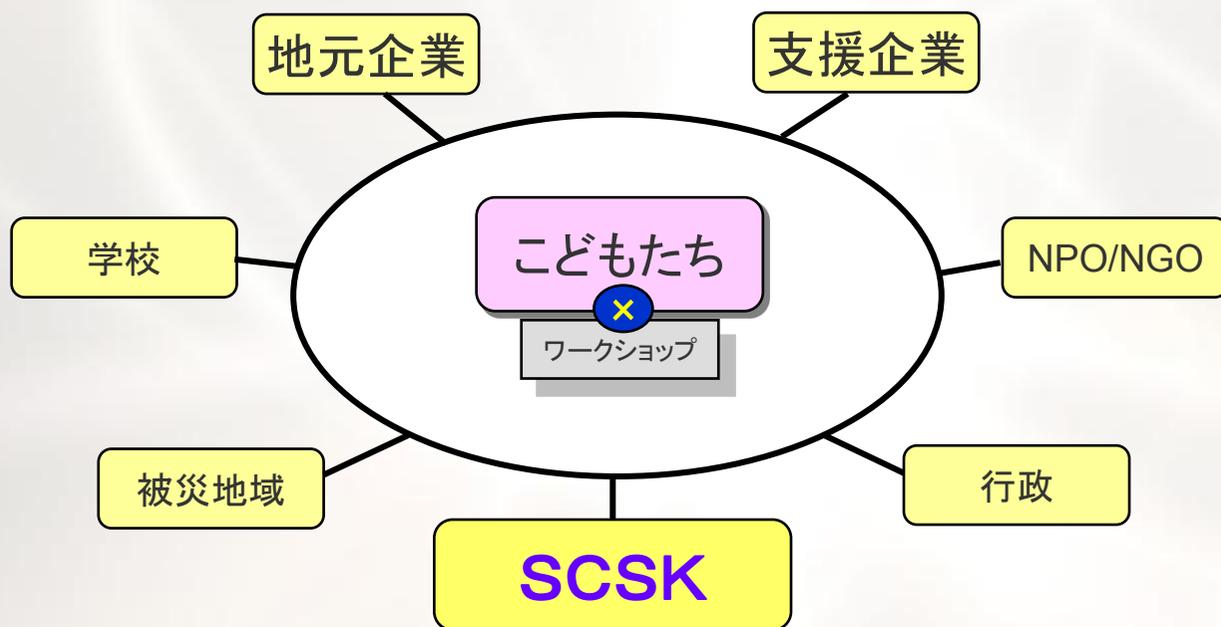
CAMP

こどもワークショップ

CAMPワークショップの東北開催



未来を担う子どもたちの「共に創る力」を育む



CAMPは、ワークショップを通して、子どもたちの「共に創る力」を育む社会貢献活動です。SCSKは、人間性の尊重と社会における人材の育成を企業の社会的責任としてとらえております。未来を担う子どもたちの育成においても積極的にその責任を果たしていくため、被災地域や被災者・避難者の方々、支援する皆様と共にCAMPワークショップの実践に取り組んでいきます。

CAMPワークショップの東北開催実績

日程	地域	会場	運営
2011/10/29	宮城県南三陸町	さんさん館	
2011/10/30	宮城県南三陸町	さんさん館	
2012/2/11	宮城県南三陸町	さんさん館	
2012/2/12	宮城県南三陸町	さんさん館	
2012/3/10	宮城県仙台市	福祉プラザ ※KDAワークショップショーケース(こども支援者向けミニ体験会)	
2012/7/15	宮城県仙台市	東北大学	
2012/8/23	千葉県千葉市	千葉市少年自然の家 ※アカデミーキャンプ2012夏	
2012/8/23	宮城県仙台市	東四郎丸児童館	
2012/8/24	宮城県仙台市	東四郎丸児童館	東北福祉大 森ゼミ
2012/9/15	福島県福島市	福島市子どもの夢を育む施設こむこむ	こむこむ職員
2012/11/13	宮城県南三陸町	入谷小学校	
2012/11/14	宮城県南三陸町	入谷小学校	
2012/11/15	宮城県南三陸町	入谷小学校	
2012/11/18	宮城県石巻市	ピースポートセンターいしのまき	東北福祉大 森ゼミ
2012/12/9	福島県会津若松市	福島銀行会津支店	福島銀行社員
2012/12/15	福島県福島市	福島市子どもの夢を育む施設こむこむ	こむこむ職員
2013/1/20	福島県郡山市	福島銀行郡山営業部	福島銀行社員
2013/2/17	福島県いわき市	福島銀行平支店	福島銀行社員
2013/3/9	福島県福島市	福島市子どもの夢を育む施設こむこむ ※KDAキッズワークショップカーニバルinふくしま	
2013/3/10	福島県福島市	福島市子どもの夢を育む施設こむこむ ※KDAキッズワークショップカーニバルinふくしま	
2013/3/23	福島県福島市	福島市子どもの夢を育む施設こむこむ	こむこむ職員

※2013年4月時点

The logo for SCSK, consisting of the letters 'SCSK' in a bold, white, sans-serif font. The letters are closely spaced and have a slight shadow effect.

SCSK

夢ある未来を、共に創る。

Several thin, white, curved lines that sweep across the page from the top left towards the bottom right, creating a sense of movement and design.

復興支援活動の考え方

SCSKの復興支援活動 考え方

どのエリア(地域)で
=どの地域の方と共に

×

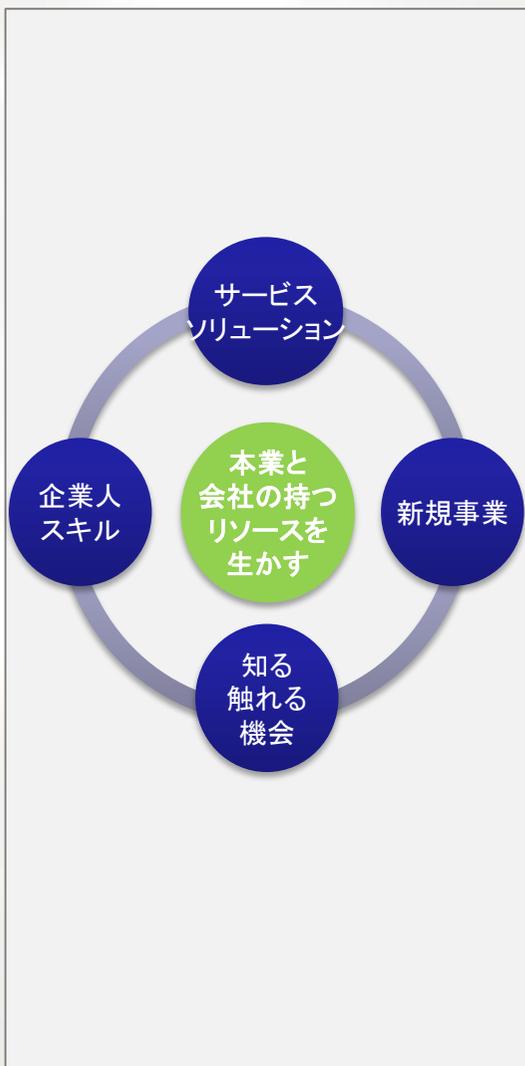
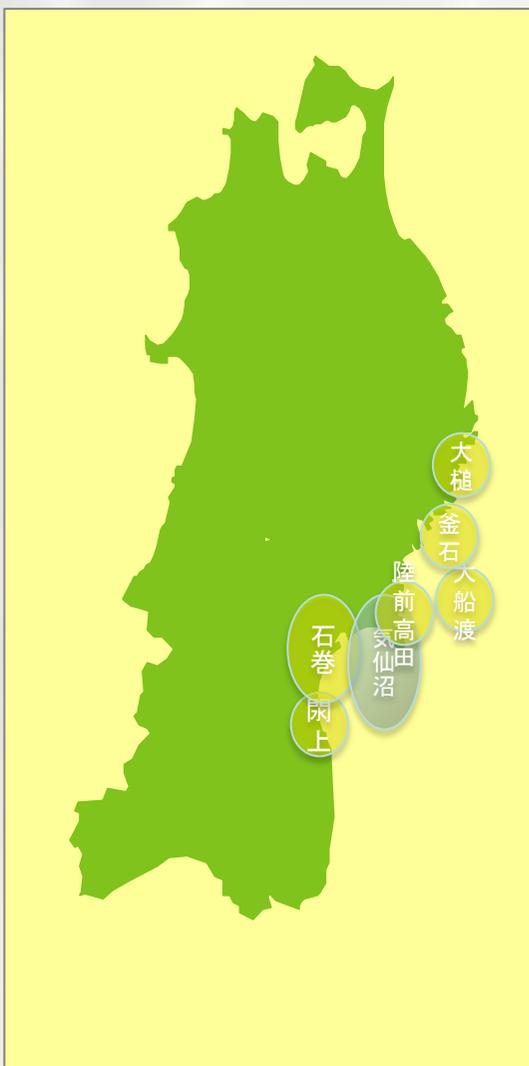
何を生かして

×

何を行い

×

どんな価値を創るか



ニーズ深耕、有効なICTソリューション展開

東北を事業実現先として社員が関心を持ち、事業推進に関与する

東北をフィールドとしたソーシャルビジネス創り

社会的課題の解決と当社事業拡大の双方に資する「ソーシャルイノベーション」の種をつくり、育む

「仕組み」化

実績をつくり、制度や業務にすることで、真に持続可能な活動へ

再開・新興事業の維持・改善

販路拡大
(再開拓、維持、新市場)

人材不足・人材育成の支援

工程管理・業務改善

メーカー直販モデル構築

復興計画に基づく街づくりのソフト面の支援
再生可能エネルギー活用